

IUHW

The gazette of the International University of Health and Welfare

第21号 発行：学校法人国際医療福祉大学
編集：広報委員会 TEL 0287-24-3000 内線7108



言語聴覚障害学科臨床実習の様相
(聴力検査)



6月5日(金)通信・放送機構(TAO)那須遠隔リハビリ
リサーチセンター開所式(記事2ページ)



言語聴覚障害学科臨床実習の様相
(コンピュータを利用した言語訓練)



作業療法学科実技テストの様相

(撮影：情報メディア部 牛山雅英)

＝ 目 次 ＝

出来事	ページ		ページ		ページ
ハンセン病国際交流会議 開催される	2	ランチタイムCD コンサートへのお願い	3	言語聴覚障害学科	5
大学来訪者	2	部・委員会報告	3	放射線・情報科学科	5
第32回日本作業療法学会、 宇都宮市で開催	2	国際部	3	医療経営管理学科	6
通信・放送機構(TAO)那須遠隔 リハビリリサーチセンター 開所式挙行政	2	情報メディア部	3	医療福祉学科	6
大盛況ノ平成10年度公開講座 「イブニングタイムセミナー」を 終えて	3	国際交流委員会	4	語学教育センター	6
お知らせ	3	就職委員会	4	医学教育センター	6
入試事務室	3	図書委員会	4	健康管理センター	6
学生課	3	進路希望調査結果	4	教員紹介	6
		紀要委員会	5	20号のクイズの正解	7
		ボランティア委員会	5	当選者発表	7
		学科・センターだより	5	サークル紹介	8
		看護学科	5	編集後記	8
		理学療法学科	5	リレーエッセイ	8
		作業療法学科	5	IUHWクイズ	8

出来事

◇ハンセン病国際交流会議開催される

6月20日東京・永田町の砂防会館シェーンバツハサポード、海外からエチオピア、中国、韓国、フィリピン、アメリカ、ブラジルなど6か国11人を迎えて、ハンセン病回復者と一般市民600名以上の参加による「国際交流会議」が開催されました。

この会議は日本ハンセン病回復者と世界のアイデア（共生、尊敬、経済向上のための国際ネットワーク）等の共催によるものだが、「らい予防法廃止」2周年を記念して「人間の尊厳回復と共生を目指す」もの。1996年の「らい予防法廃止」に大きい役割を果たされた大谷学長も会議開催に尽力された一人として、当日の催しのメインである各国代表者によるテーブル討論の座長を務められました。

会議はハンセン病回復者が共生できるよう努力することを求める「東京宣言」を採択して幕を閉じました。



◇大学来訪者

- *平成10年5月14日(木)
台湾・基督教門諾医院・黄勝雄医院長他5名
- *平成10年5月25日(月)
栃木県立那須拓陽高等学校 21名
- *平成10年5月29日(金)
国立公衆衛生院・「公衆衛生教育セミナー」14名
- *平成10年6月3日(木)
仙台医療技術専門学校 2名

◇第32回日本作業療法学会、宇都宮市で開催



去る6月17日(水)～6月19日(金)の3日間、栃木県総合文化センターで、日本作業療法学会が開催されました。企画は特別講演に堀田力氏、鼎談に大谷藤郎学長、池上千寿子氏、調一興氏、教養講演に萩生田千津子氏をお招きし、今学会のテーマに向けて、30年をふり返りそして21世紀に向けての展開へ示唆をいただきました。全国より1500名以上の参加があり、梅雨の時間の3日間でした。OT学科の3年生一部と4年生全員のお手伝いがあり、参加者の皆さんから「気遣いのできる学生」「笑顔が良い」等の評価を得て満足した実行委員達でした。
(福田恵美子)

◇通信・放送機構(TAO)那須遠隔リハビリ

リサーチセンター開所式挙行
中国リハビリテーションセンターとの衛星通信による
共同研究はじまる



かねてより準備が進められていた「アジア地区に於ける衛星を利用した遠隔リハビリテーションシステム」の研究プロジェクト(研究リーダー・杉原教授)が、6月5日「棟2階の通信・放送機構「那須リハビリリサーチセンター」(センター長・井原教授)開設とともに本格的にスタートしました。この日の開所式は、共同研究先の中国北京市内の中国リハビリテーションセンターとの間を通信衛星で結び、2元中継で行われました。那須センターでは郵政省、栃木県、大田原市からのご来賓、本学から高木理事長、大谷学長をはじめ教職員、また、4名の中国側幹部スタッフ(中国障害者連合会、中国リハセンター)が出席しました。開所後のパーティーでは、出席予定であった自見郵政大臣からの祝辞も披露されました。開所式の様子やプロジェクトの内容・意義などについては、当夜、翌朝の我が国の新聞各紙、NHKのニュース、さらに中国の新聞、テレビ等で報道されました。平成13年3月まで予定されている研究は、本学教員、情報メディア部が中心となって推進し、衛星通信による遠隔教育によって、将来のアジア地区におけるリハビリ関連人材の育成と技術向上に大きく貢献すると期待されています。
(井原廣一)

◇大盛況ノ 平成10年度公開講座「イブニングタイムセミナー」を終えて



5月6日～7月1日まで計7回、地域住民を対象とした今年度の公開講座を開催しました。今回のテーマは「長命社会のライフプランを考える」で、延べ人数約900名が参加しました。また、毎回聴取したアンケートに介護保険制度についての講義を希望する声が多かったため、鈴木五郎教授の追加講義を7月8日に行いました。

今年度は医療福祉学科が企画を担当し、福祉サービスの利用の仕方、在宅介護・リハビリテーションのポイント、福祉施設の現場の状況について等の長命社会の生活設計を考えるうえでの情報提供を行いました。アンケートには、学生に戻った気分がした、自分の老後に役立つ話であった等の声が寄せられました。

お知らせ

◇入試事務室

8/1(土)、8/5(木)、8/29(土)に受験生、高校教員、保護者を対象として大学説明会を実施します。時間はいずれも10時～16時(総合ガイダンス11時～12時、体験入学10時～15時、個別入試相談10時～16時)です。

また、夏休み中に帰省する学生の方に出身高校を訪問し、募集要項を使って本学のPRをしてくださる方を募集します。ご協力いただける方は事務局窓口までお越しください。よりよき伝統をみなさんの後輩にもぜひ伝えてくださるようご協力ください。

◇学生課

おめでとうノ平成10年度国際医療福祉大学

奨学生決定!!

本学において品行方正で学業優秀な学生に与えられる大学奨学金の授与式が5月27日に行われました。

4年生-高野綾(看護)、大越友博(理学)、林由美子(作業)、渋谷純子(言語)、山口幸久(放・情)。

3年生-田尻后子(看護)、神谷晃夫(理学)、日高玲子(作業)、齊藤めぐみ(言語)、布袋田真大(放・情)。

2年生-奥瀬美穂(看護)、下井俊典(理学)、田中未涼(作業)、西村奈緒美(言語)、菅沼政紀(放・情)、杉浦民枝(経営)、松田由美子(福祉)。

◇ランチタイムCDコンサートへのお誘い

毎週火曜日の昼休み(12:30～50頃)にF101講義室で「クラシック入門」のCDミニコンサートを開催しています。学生時代にクラシックの古今の名曲に親しんでみませんか。数百年前に作曲され、現在なお聴かれている曲からは何らかの魅力が発見できるはずですよ。

毎回親しみやすい曲を紹介しています。週1回20分のコンサートですが、昼食後の一時、気軽に聴きに來て下さい。(図書館)

部・委員会報告

◇国際部

ケニア医療訓練カレッジ学長とキメウ研修員の来学



本学がJICAの依頼で協力している標記カレッジから4月6日に来学されたキメウさんのコンピュータ研修はお陰様で成功裏に5月22日終了しました。

ついで、同カレッジのポイト学長が九州・高木病院見学後、6月11日夕刻大田原に到着、早速本学主催の歓迎会に出席、その後16日まで各学科長、センター長からそれぞれの教育・研究内容について説明を受け、今後の協力の可能性について懇談、また15日には学内で千保一夫大田原市長にも会われました。(長谷川豊)

◇情報メディア部

6月5日、中国リハビリテーション研究センターの北京局と本大学を通信衛星をつないで「アジア地区における衛星を利用した遠隔リハビリテーションシステムの研究開発プロジェクト」の開所式が行われました。双方向のテレビ中継により、日本と中国側で来賓の御挨拶が交互にありテープカットが行われましたが、中国側で真っ赤なチャイナドレスの女性7名が真っ赤な帯のようなテープを持って登場したときにはF101講義室でドッと歓声が上がりました。プロジェクトリーダーの杉原素子教授の紹介でメディア室が制作した研究内容の紹介ビデオが流された後、杉原先生が中国側の責任者崔(サイ)三生研究センター副主任に、これからの研究を成功させるための協力をお願いし、崔先生からそれを確認するご返事がありましたが、この双方向通信の良さを示唆する場面でした。(熊野信雄)

◇国際交流委員会



留学生・海外生活経験者の集い

(1) 98年夏の国際ボランティア・研修活動の概要を6月12日付で発表、参加募集をしています。

- ①ベトナム、チョーライ病院でのボランティア
- ②アメリカ、プロヴィデンス病院でのボランティア
- ③中国、リハビリテーション研究センター中心の研修。8月5日から①②は3週間、③は2週間の予定です。

(2) 5月30日、勸県国際交流協会主催「留学生支援金に関するガイダンス・懇親パーティー」が宇都宮で開催され、4名の留学生と南井委員が参加しました。

(3) 6月18～19日、文部省・宇都宮大学主催の「留学生研究協議会」が宇都宮市で開催され、長谷川、田中、秋吉、古澤委員が参加しました。

(4) 6月23日、学長・委員会主催の「留学生・海外生活経験者の集い」がレストラン2階で開催されました。1～4年の学生約30名、留学生のホストファミリー、教職員、委員等、総計60名の方々が、プラスバンド部4名による室内楽の素晴らしい演奏を楽しみながら、和やかな歓談の時を過ごしました。(田中美子)

◇就職委員会

就職委員会は、学生課と協力して、1期生のための下記の就職対策活動を計画・実行しています。

- 1) 求人に関する書類(就職用パンフレット、求人票書式他)を全国の臨床実習施設に送付した。
- 2) 今後引き続き、求人に関する書類を全国の主な医療・福祉施設等に送付する。
- 3) 病院の人事担当者による合同病院説明会を1期生を対象に本学で複数回開催する。

(伊藤元信)

◇図書委員会

各学科・センターより図書委員が選出され、毎月図書委員会が行われています。協議事項の中から一部を報告します。

- ・国際協力関係資料について協議した結果、展示用書棚を購入し、館内に国際協力コーナーを設置した。
- ・文献検索CD-ROMについて、検索結果の量が多く時間が足りない場合は、フロッピーディスクへダウンロードする方法をとってもらいたい。
- ・情報化時代の図書館のあり方を検討する。

(荒井蝶子)

◇進路希望調査結果

(4年生)

質問1. 卒業後の進路

	看護	理学	作業	言語	放・情
①進学	11人	10人	4人	4人	12人
②就職	88人	19人	83人	76人	99人
③その他	0人	0人	0人	0人	0人
④未定・不明	6人	0人	7人	9人	3人
回答者総数	105人	29人	94人	89人	114人

質問2. 進学の希望形態

	看護	理学	作業	言語	放・情
①本学の大学院	1人	7人	1人	2人	5人
②進学	1人	1人	1人	2人	2人
③他大学の大学院	0人	0人	1人	0人	0人
④海外の大学院	3人	0人	0人	1人	1人
⑤その他	6人	2人	1人	0人	3人

質問3. 大学院修士課程で学びたいこと(複数回答可)

	看護	理学	作業	言語	放・情
①看護学	5人	0人	0人	0人	1人
②理学療法	1人	10人	0人	0人	3人
③作業療法	0人	0人	3人	0人	0人
④言語聴覚障害学	0人	0人	0人	3人	0人
⑤放射線・情報科学	0人	0人	1人	0人	8人
⑥医療経営管理	1人	1人	0人	0人	0人
⑦医療福祉学	1人	1人	0人	0人	0人
⑧その他	5人	0人	0人	2人	2人

質問4. 就きたい仕事

	看護	理学	作業	言語	放・情
①保健・医療職	77人	15人	64人	64人	87人
②教育職	0人	0人	2人	1人	0人
③研究職	0人	0人	0人	2人	2人
④福祉職	0人	0人	1人	5人	0人
⑤公務員(行政職)	2人	0人	1人	0人	1人
⑥公務員(技術職)	5人	2人	9人	2人	2人
⑦事務職	0人	0人	0人	1人	0人
⑧その他	1人	1人	1人	2人	3人
⑨未定・不明	20人	11人	16人	16人	19人

質問5. 希望の職種

	看護	理学	作業	言語	放・情
①看護婦(士)	57人	0人	1人	0人	0人
②保健師(士)	21人	0人	0人	0人	0人
③助産婦	6人	0人	0人	0人	0人
④理学療法士	0人	18人	0人	0人	0人
⑤作業療法士	0人	0人	78人	0人	0人
⑥言語聴覚士	0人	0人	0人	73人	0人
⑦診療放射線技師	0人	0人	0人	0人	97人
⑧その他	1人	1人	2人	3人	2人
⑨未定・不明	20人	10人	13人	14人	15人

質問6. 働きたい職場(複数回答可)

	看護	理学	作業	言語	放・情
①病院・診療所	75人	16人	71人	65人	91人
②福祉施設	7人	2人	24人	44人	4人
③リハビリテーションセンター	6人	7人	39人	63人	1人
④療育・通園センター	2人	2人	10人	42人	0人
⑤行政機関・保健所	20人	2人	9人	25人	17人
⑥老人保健施設	4人	1人	14人	24人	0人
⑦学校	1人	0人	3人	5人	1人
⑧一社企業	6人	2人	1人	7人	7人
⑨その他	1人	1人	4人	1人	1人
⑩未定・不明	19人	10人	15人	11人	16人

質問7. 希望の就職先地域(複数回答可)

	看護	理学	作業	言語	放・情
①栃木県(県北)	12人	1人	15人	17人	10人
②栃木県(県央・県南)	15人	3人	14人	22人	28人
③関東(栃木県を除く)	58人	11人	37人	48人	64人
④中部・東海	10人	0人	3人	9人	5人
⑤甲信越・北陸	2人	1人	11人	9人	4人
⑥中国・四国	3人	5人	3人	2人	4人
⑦東北・北海道	3人	2人	8人	16人	16人
⑧九州・沖縄	6人	1人	7人	7人	6人
⑨その他	25人	11人	25人	19人	23人

◇紀要委員会

平成10年度第2回紀要委員会を5月19日(火)に開催いたしました。新任の先生方のご参加も得て、紀要第3巻の論文審査の状況の確認と査読上の問題等を議論いたしました。また、今年度から紀要委員会の開催日を毎月第3火曜日とすることにいたしました。

6月9日(火)に文部省の年次計画履行状況実地調査が行われ、調査委員から本学の年報と紀要の提出要請があり、調査後の感想として、教員数の割には研究論文の数が少ないのではということでした。先生方も日々ご多忙とは思いますが、貴重な研究成果の発表にも時間を割いていただきますようお願いいたします。
(野原功全)

◇ボランティア委員会

第1回学内ボランティア集會開催

4月27日(月)夕刻から本学ではじめてボランティア委員会主催による「ボランティア活動への案内」と題するオリエンテーションの集會を開催しました。当日は、学内のボランティアサークル等の代表者による活動紹介、相談窓口や保険の紹介、ボランティア活動に参加する際の心構えなどが話し合われました。学内にあるボランティアサークルが全員集まるはじめての機会になり、当日の受付は紫陽花が受け持ってくれました。

4月21日には本年度第1回の委員会開催。学外からのボランティア募集について対応を検討しました。5月末に97年度ボランティア活動報告を刊行します。
(鈴木五郎)

学科・センターだより

◇看護学科

「助産学の開講」

4年生に向けて、助産学を選択科目として開講しました。実習を含む8科目(16単位)の全てを修了すると、助産師国家試験の受験資格につながります。授業は前期で終了しますが、実習は夏休みの7週間を当てるといったハードな課程です。全ての科目に履修登録した学生が22名、実習を除く科目ごとの登録学生数は最大が39名です。

少子化が加速する今日ですが、それだけに、主体性を持って「よいお産をしたい」と望む女性達が増えてきました。母子とその家族への援助をめぐる社会的ニーズに応えられるような助産師となるための学びの第一歩が始まります。
(寺田真廣)

◇看護学科関連国家試験日程決定!!

- 保健婦(士)：平成11年2月25日(木)
- 助産婦：平成11年2月26日(金)
- 看護婦(士)：平成11年2月28日(日)

◇理学療法学科

新しい伝統の始まり?

さる5月23日、1年ぶりにイベント集団の勇姿を見ることができました。恒例となった運動会での理学療法学科による応援ですが、今年の日玉はあの黒い学ランではなかったでしょうか。昨年とはまた違った色を加えるあたりに企画者の気配を感じました。準備開始が遅すぎるのではという教員側の心配は大きなお世話だったようで、改めて学生さんの実力を思い知るはめとなりました。集団で何かを作る喜びを知ることは、個人を豊かにしてくれます。これからは健全な集団主義という新しい伝統のためにがんばってください。
(谷 浩明)

◇作業療法学科

- 1年生解剖学実習真剣に取り組む!
- 2年生運動会で大活躍!

7月1日と7月8日に1年生最初の解剖学実習(人体解剖)が行われます。解剖学実習という極めて貴重な体験をすると同時に、学外で行われる実習・学習は、学生の意識する常識をはるかに越えて尊敬なるものです。心してかかれよ。ところで2年生、先日の運動会は素晴らしい。43名で跳んだ長縄で2位、本気リレーで男子優勝/女子準優勝/1, 3, 4年生をよくまとめました。良い雰囲気です。学生生活を盛り上げていて下さい。
(濱口豊太)

◇言語聴覚障害学科

実習報告会開かれる

4年生の前期外部実習がほぼ終了し、学科内での報告会が開かれました。報告者には指定された項目について、短時間で的確に伝えるということが要求され、雰囲気はさながらミニ学会でした。実習先で鍛えられた成果でしょうか、みんな堂々と発表していました。また、苦労話もありましたが、「これを機会に更にがんばりたい。」と結んでおり、今後の成長が期待される所です。さて、学生達の報告内容を因子分析してみたところ、実習で必要とされるものは、知力もさることながら、①前向きな姿勢、②体力、そして、③十分な睡眠であることが判明しました。これらは、人生においても重要な要素であると言えるのかもしれない。後期も引き続きがんばりましょう。
(植田 恵)

◇放射線・情報科学科

第3回体育祭では放射線・情報科学科が念願の初優勝に輝きました。今年は学科のイメージをデザインしてプリントしたTシャツを着て揃いの姿で参加したので、気持ちが一つになれたことによるものと思います。

素直に勝利の歓びを味わっております。

4年生にはよい思い出ができたと思いますが、卒業研究も始まり、就職や国家試験を控えて重要な時期を迎えつつあり、こちらの方もいよいよ本気で頑張ってもらいたいと思います。3年生は臨床実習ガイダンスが始まり、各実習先の実習指導責任者から実習における心構えなどの有益な話を聴いているところです。

(野原功全)

◇医療経営管理学科

今年から私たちの学科にも、外国人の先生をお招きしておりますが、先日、軽い病気にかかりました。皆様には、大変ご心配をいただきましたが、おかげさまで、大事にいたらずに快復し、授業も滞りなくつとめております。ご存じかと思いますが、外国で病気になったとき、一番の心配事は医療費の問題です。日本に滞在する外国人の場合、居住の市町村に外国人登録をすると、国民健康保険の適用が受けられます。他の学科でも、外国人の先生をお招きするときには、外国人登録を一時も早く済ませられますよう、おすすめいたします。

(紀伊國敏三)

◇医療福祉学科

交流会の効果あり?

少し前の話になりますが、福祉学科では5月20日、学長の太谷先生をゲストに、学科学生1・2年、教職員の「交流会」をカフェテリアで楽しく開催しました。

そして、その3日後(5/23)、恒例の「運動会」がありました。今年から学科チームとして独立、1年と2年、教員で力を合わせて頑張りました。結構いい調子。最後の「本気リレー」、女子チームは1位/続いて男子も1位をキープ!?あ、バトンが逃げた/少し残念でしたが、堂々の総合2位。どうやら交流会の効果があったようです。来年こそは…? (本多 勇)

◇語学教育センター

1) 1年生英語夏休み課題:今年もWHO文書の“New Horizons in Health”を読んでもらいます。WHO憲章、アルマアタ宣言や医療・保健関係の語彙など学ぶべきものがたくさんあります。楽しんで(!?)下さい。

2) イングリッシュイブニング:7月29、30、31日 18:00~20:00、テーマは「スポーツと健康」、初級、中級、上級の3クラスで開講。初めての方もリピーターも大歓迎です。受講料2,000円。楽しく英語を学びましょう。

(宮尾洋子)

◇医学教育センター

一本学での医学教育について考えること—その1

この大学で教育・研究する対象は「広い意味での医

療」と考えるべきだと思っています。これは従来の狭義の医療(診療を主体とするもの)に保健、福祉、介護などを加えたものと考えてよいでしょう。多くの分野での医療関連職種(コメディカル)を養成し社会に貢献することが本学の主な使命であります。学生の教育の中で医学に関する教育はある面では一般大学での一般教養科目に相当するが更に多くの肉付けが求められます。この点について検討すべきことが多くあると思っておりますのでこれから何回か述べてまいります。

(都築正和)

◇健康管理センター

口の健診もお忘れなく

定期健診も終わり、その結果で再検・精査をいわれた方もいると思います。どうぞ講義や仕事の合間にクリニックに相談下さい。さて体はよしとして、口の健診は受けていますか?最近、キシリトールによる虫歯の予防や歯の再石灰化の話をよく耳にしますが、一度虫歯になると元の健康な歯には戻りません。また、歳をとると虫歯より歯槽膿漏の罹患率が高くなります。噛めないからと柔らかい物ばかり食べているのは、健康に良いことではありません。噛むことは、消化のために非常に大切です。一度口の健診をお勧めします。

(大橋一之)

教員紹介

(毎号、各学科・センターから1名ずつご紹介頂きます。)

①所属・職位②生年③出身校④専門分野⑤直前の勤め先⑥主要著書・論文どちらか1点のみ⑦本校における担当科目⑧趣味。

河村 敬子(かわむら けいこ)



①看護学科・助手②1968年③日本福祉大学④母性看護学、助産学⑤総合病院産婦人科病棟⑥臨床実習⑦ダイビングで胎内回帰することですが、昨年の夏以来海から離れています。今は大田原の自然に親しむことです。

中口 和彦(なかぐち かずひこ)



①理学療法学科・助手②1969年③法政大学、早稲田医療技術専門学校④ドライブ等

烏野 幹夫 (うの みさお)



①言語聴覚障害学科・助手②1973年③筑波大学大学院教育研究科④構音障害(小児)⑦演習などの助手⑧手話、読書、ボウリング

志田 寿夫 (しだ ひさお)



①放射線・情報科学科・教授②1930年③東北大学医学部④胸部放射線診断、じん肺症診断⑤けい肺労災病院⑥Radiologic and pathologic characteristics of mixed dust pneumoconiosis, Radio Graphics, 1996. 1992年北米放射線学会にてMagnum Cum Laude賞受賞、1993年東北大学医学部高橋記念賞受賞⑦核医学検査技術、臨床医学概論、呼吸器疾患⑧グライダー

J. Johnston (ジョン・ジョンストン)



①医療経営管理学科・助教授②1930年8月29日③Oxford University, Trinity College④政治、哲学、経済⑤Montreal Extended-Care Center⑥カナダにおける患者の知る権利および関連する諸問題(医学書院)⑦Health Care Management⑧Reading, Music, Travel

渡邊 吉利 (わたなべ よしかず)



①医療福祉学科・教授②1943年③早稲田大学政経学部④家族社会学、人口統計学⑤国立社会保障・人口問題研究所⑥「日本人女子コウホートの結婚と出産、死亡によるライフコース」、「人

口問題研究」第181号、1987年⑦家族社会学、社会福祉調査法⑧散歩や昼寝でのんびり過ごすこと

小田 晋 (おだ すずむ)



①医学教育センター・教授②1933年③岡山大学医学部、東京医科歯科大学大学院医学研究科(神経精神医学専攻)修了④社会精神医学、犯罪精神医学、精神保健学⑤筑波大学社会医学系⑥司法精神医学と精神鑑定(医学書院)1997⑦精神医学、人間学⑧観能、落語研究、歴史研究、水泳

伊藤 雅彦 (いとう まさひこ)



①臨床医学センター・助教授②1954年③札幌医大を経て防衛医大卒業、同医学研究科中退④臨床アレルギー・免疫学、心身医学、小児科学、総合臨床医学⑤ハーバード大学医学部リサーチフェロー、埼玉医大講師、国立東宇都宮病院院長⑥あしたのジョー心理学概論(中公文庫)、幕場へのロードマップ(データハウス)⑦小児科学、一般臨床医学、内科学、臨床看護論Ⅱ、臨床助産論Ⅰ⑧ドラム演奏(ロックバンド)、コンピュータ(9月に国立がんセンターにてコンピュータサイエンス学会会頭講演予定)、スキー(自衛隊検定2級)、英語(英検準1級)、ボート操縦(4級小型船舶)、遠隔医療やプライマリケアについて考える事。 itohm@gem.bckkoame.ne.jp

第8回IUHWクイズ当選者発表

多数応募の中から正解者は16名でした。厳正な抽選により看護3年金井和夫さんが第8回IUHWクイズの当選者に決定しました。正解は下記の通りです。ご協力ありがとうございました。

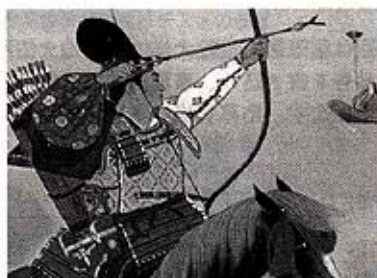
正解

問1. 3.

問2. 3.

問3. 1.

- 問1. 大田原市と西那須野町と黒羽町を合わせた人口は何人でしょう。
①5万未満 ②5万人以上～10万人未満 ③10万人以上
- 問2. 大田原市の市長の名前は？
①一保市長 ②高木市長 ③千保市長
- 問3. 大田原はこれで有名。
①竹細工 ②小砂焼(こいさごやき) ③日本茶



サークル紹介

少林寺拳法部

第9回 少林寺拳法北関東学生大会

桐生市にある群馬大学体育館にて、6月28日、学生が主体的に運営する北関東学生大会が開催されました。

その日は暑く、湿度も高いなか、栃木・群馬の7大学の拳士が集まり、出場拳士の気合や応援合戦でおおいに盛り上がりました。我が部では、組演武有段の部優良賞、菊地俊一・山本智久、級拳士の部優良賞、佐藤将樹・斎藤英樹が入賞しました。

午後は合同練習で他大学との交流を深め、先生方に整体法を習い閉会となりました。

尚、7月5日、2年生11名が初段に合格!!



(作業3年：菊地俊一)

編集後記

IUHW第21号ができました。

いつの間にか、夏至を過ぎもう夏本番です。気がつけば1998年も折り返し点を過ぎ、7月中盤。前期試験目前です。1年生の皆さんにとっては初めての大学での試験です。前期での学習成果を全力を尽くして発揮して下さい。

前期試験が終われば、夏休み。遊びや旅行の計画も

IUHWクイズ ー第9弾ー

賞品はなんと旅行ギフト券(8,000円分)!

今回は国際医療福祉大学の所在地大田原市に関するクイズです。

解答番号を書き込み、事務局窓口外側のメールボックスへ。全問正解者から、抽選で1名の方に旅行ギフト券を差し上げます。応募資格は本学の学生で、1人1通、メ切は8月15日。

キリトル

学科 _____ 学年 _____

名前 _____

解答

問1. _____

問2. _____

問3. _____

キリトル 問1. 通信・放送機構の略称は?

①TACO ②TARO ③TAO ④PAO

キリトル 問2. 大学の前を走っている国道は?

①国道4号線 ②国道331号線
③国道400号線 ④国道461号線

キリトル 問3. この夏「海外ボランティア研修活動」で予定していない国は?

①中国 ②アメリカ ③フランス ④ベトナム

リレーエッセイ

東大寺

医療経営管理学科 矢野 聡

高校の修学旅行で、奈良の東大寺を見学してから、妙にこの寺が心に残るようになった。大学時代も何度か訪れたが、給与生活者になってからは毎年この寺を訪れている。

大仏殿の盧遮那仏に圧倒され、また素直に自分が圧倒されるその感覚が気に入っていたものである。手を合わすとき、はじめは自分の願望を託していたのだが、やがて不釣り合いであることに気づき、「日本の平和」や、「人類の幸福」が祈りの対象になった。

三月堂の観音立像を拝むと、額の間にあるもうひとつの目に射抜かれるように感じる。多分本当の賢者は、自分の額に第三の目を持っているのだらうと思わせる。

境内に隣接したところに「依水園」という庭園があり、この中に「三秀」という茅葺きの小じんまりとした建物がある。昼の一時だけ、「うなとろ御膳」を食べることができる。四季の移ろいを感じながらいただく御飯はまた格別である。こういうわけで、私の東大寺の参拝時間は、お昼前頃と相場が決まってしまった。

次回執筆者：三井連雄先生(総合教育センター)

あるでしょうか。臨床での現場実習に出る学生もいることと思います。ともあれ、夏休みでなければできない経験や体験、勉強をたくさんして、自分自身をより成長させましょう。自分の希望する進路に向かって…

ただ、体調、事故にはくれぐれも気をつけて。

(本多 勇)